

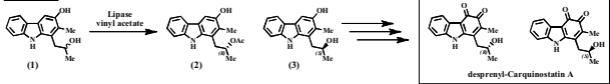
# 31P-0009

エナンチオ選択的 Carquinostatin A の全合成研究

○稗田 雄三<sup>1</sup>, 町支 臣成<sup>1</sup>, 内田 佳成<sup>1</sup>, 藤井 早由利<sup>1</sup>, 藤岡 晴人<sup>1</sup>,  
日比野 俐<sup>1</sup>(<sup>1</sup>福山大薬)

【目的】 Carquinostatin A は脳神経保護作用と抗酸化作用を有することが報告されている多置換カルバゾールアルカロイドである。この多置換カルバゾール類の全合成を検討しカルバゾールを基盤としたリード化合物探索研究を行っている。その中で、Scheme 1 に示すようにリパーゼを用いた酵素触媒不斉エステル化交換反応を利用している。6位の prenyl 基を持たない desprenyl-Carquinostatin A の不斉合成法を確立している。今回、Carquinostatin A の全合成を試みた。【方法・結果】1,2,3-3置換カルバゾール **4** は、確立しているアレン含有ヘキサトリエン型電子環状反応により合成した。**4** より数工程を経て1位に2-hydroxypropyl 基を導入後、プロモ化を行いカルバゾール **5** を得た。**5** に対し、種々 prenyl 基の導入を検討し(±)-Carquinostatin A の全合成を達成した経緯について述べる(Scheme 2)。さらに、両エナンチオマーの Carquinostatin A の合成も検討中である。

Scheme 1



Scheme 2

